

機種名: おとめ妖怪ざくろ (北電子)

導入予定日: 2015.6.7~



1店舗あたりの

予測設置台数:

バラエティ~3台程度

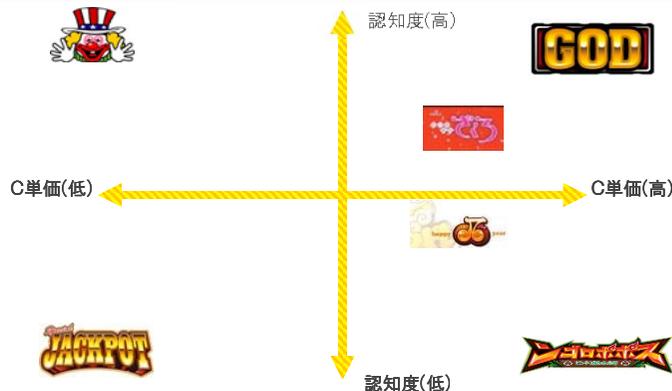
推奨設置台数:

ジャグラーとの兼ね合い次第...

Schedule

日付	機種名	販売予測台数
6/7	π遊記	5,000台
	おとめ妖怪ざくろ	10,000台
	押し順ケロルン	
	ガン×ソード	

Positioning-Map



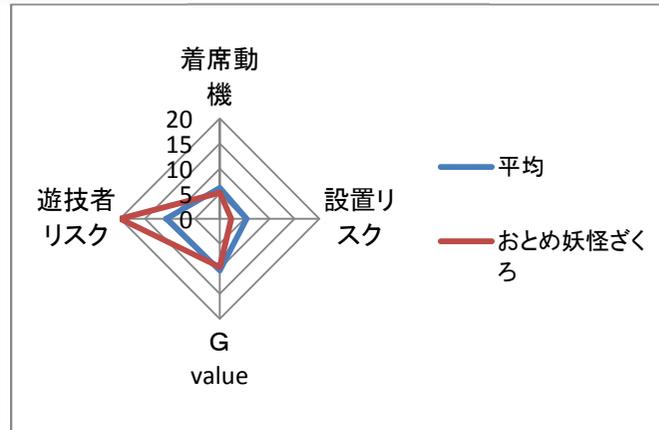
Comment (機種背景)

当機の著作権であるおとめ妖怪ざくろと同時期のアニメで、既に遊技機化されたものに薄桜鬼、真・恋姫無双、学園黙示録 HIGHSCHOOL OF THE DEAD、百花繚乱 サムライガールズなどがあるわけだが、2010年放映のアニメで代表的な「けいおん」の認知度には遠く及ばない。しかしながら、遊技機化はしやすそうなストーリーでもあり、コアなアニメファン層の掘り起こしにはなりそう??

Comment (仕様説明)

ジャグラーだけリリースし続けるわけにもいかないのは理解しつつも、ならば遊技フローや仕様に関しては「置きにきて」欲しいのだが…。試打確認時の肝(ポイント)は、なんとといってもART当選時の押し順2択。白777となった際には30Gで終わる可能性もあり、また、最大の上乗せ特化ゾーンである「妖艶乱舞」に至っては自力6択という、ある意味「押し順特化型ART機」という印象だけに、ここはヘコミ遊技者感情を以って試打が必要。

解析レポート



着席動機: モチーフの認知度は「その筋」では高く、「ささみさん」以上。

設置リスク: 無し

G value: 約2.2枚増のART機。非常に普通。

遊技者リスク: 赤777/白777の押し順2択は、獲得期待値から非常にリスクは高い。

離反要因: 赤777/白777の押し順2択に加え、上乗せ特化トリガーのBAR揃えも押し順であり、これは最大の離反要因

ゲームフロー: G数減算システムを採用しているだけに稼働補助は見込めるものの…

新奇性: G数管理+G数減算

総合評価



初週予測 OUT

19285